



vol.16

原稿：岩澤・橋本
デザイン：甘城



師走
SHIWASU

元気だし!あさくら収穫祭

地域おこし協力隊もお手伝い

(地産地消の拠点、プランナー 岩澤)

11月5日(日)にみなみの里で収穫祭が行われました。メインイベントは、東峰村・朝倉市・筑前町産の新米と漬物の食べ比べ。かまどで炊き上げた新米ご飯、朝倉の「万能ネギ味噌」、東峰村のお母さん達手作りの「生姜きんぴら」、筑前産の木酢を搾って仕上げた「青菜の漬物」、クロダマル味噌を使った「豚汁」。私は販売のサポートを行いました。

復興の意味を込め、小石原焼の器でご飯を食べてもらい、さらに使った器はお土産として持ち帰ることができるという特典付きに長蛇の列ができ、お昼を待たずに完売。イベントは大成功に終わりました。



▲たくさんのお客さんと賑わう会場



▲各地域の新米と漬物と豚汁のセット

マレーシア・マラヤ大学留学生

ホームステイ受入

(観光ツーリズムプランナー 橋本)

今後のインバウンド受入の準備・調査を兼ねてマレーシア・マラヤ大学から九州大学へ短期留学している2名の学生さんを町内のご家庭でのホームステイに誘致しました。筑前町産の野菜やごはん(おむすび)、クロダマルを使ったスコーンでもてなし、そのあと町内を散策。町や日本の伝統・魅力を再発見する良い機会となりました。

今後筑前町を海外からのお客様にも知っていただけるように広げていけたらと思います。




▲町内で1番気に入ってもらえた場所
「歴史の里公園」



▲解散場所の九州大学門前にて



▲大己貴神社の絵馬を真剣に見入るふたり



■参加条件
筑前町で撮影した写真を Instagram でハッシュタグ「#ちくぜんフォト」をつけて投稿

■応募期間
2017年9月1日(金)～2018年2月28日(水)

■テーマ
筑前町の魅力が伝わる写真
※ 詳細は、ホームページを検索またはQRコード(下段)を読込


筑前町の魅力を Instagram で発信しよう!!

地域おこし協力隊とは?

人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行う。その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。(任期:最長3年間)

筑前町地域おこし協力隊の活動をもっと知りたい方は公式ホームページからチェック!各SNSにもアクセスできます!

筑前町地域おこし協力隊



●地域おこし協力隊通信記事の過去掲載分は公式ホームページに掲載しています。

イチニチクゼン

町内の人からすると何気ない日常。しかし、町外から来た地域おこし協力隊にとっては新発見! 筑前町の良さを見つけるコーナー。



地域おこし協力隊 | 観光ツーリズムプランナー
shota_takeda

撮影場所 > 夜須高原



秋の風物詩であるススキ。
夜須高原では黄金色に輝くススキを見ることができます。紅葉も綺麗に色付いていました。ススキの名所は撮影スポットとしても人気があることから、夜須高原のススキを求めて筑前町に足を運ぶ人が増えるかもしれません。